

公開実用 昭和63- 166235

b4

⑨日本国特許庁 (JP)

⑩実用新案出願公開

⑪公開実用新案公報 (U)

昭63- 166235

⑫Int.Cl.*

A 61 H 39/04
39/06

識別記号

府内整理番号

7132-4C
7132-4C

⑬公開 昭和63年(1988)10月28日

審査請求 未請求 (全頁)

⑭考案の名称 眼とその周辺のつぼを刺激する眼帯

⑮実 翻 昭62- 59535

⑯出 願 昭62(1987) 4月20日

⑰考 案 者 富士原 昌一 東京都町田市岡部町1672番地

⑱出 願 人 富士原 昌一 東京都町田市岡部町1672番地

明細書

1. 考案の名稱

眼とその周辺のつぼを刺激する眼帯

2. 実用新案登録請求の範囲

眼帯(A)の内側(B)の眼球に当る周辺部分に刺激用の素材(1)を密集させて固着し、穴(3)をあけた眼帯。

3. 考案の詳細な説明

(イ) この考案は、疲れた眼及びその周辺部分の疲れをとる事ができる眼帯に関する。

(ロ) 従来の技術としては、指圧・マッサージ、針、灸から始まって各種光学機器・電子機器等が揃ってはあるが、素人には難しかったり、価段が高額だったりで誰もが可能と云う訳にはいかない。

(ハ) 考案が解決しようとする問題点

最近電子機器類の家庭・職場への進出は目をみはるばかりの状況で、これに比例して眼の疲れ、各種神経、筋の疲れを訴える人が急増した。

この疲れを家庭で簡単に取り去る方法を知りない若者達は、視力を弱めたり、頭痛やイライラの原因とさせている。その日の疲れは、その日に取り除かねばならぬなり。

(二) 問題を解決するための手段

この考案の眼帯を因面にもとづいて説明すると、眼帯の内側部分(B)の周辺部に皮ふを傷つけないで眼の周辺部にあるつぼを刺激する素描(1)を卓で示すように沢山密に固着させる。(2)の部分は用いた眼球に当る場所で、柔らかくかつふんわりと盛り上うせる。(3)は切り抜いた穴でつぼの中でも特に重要で、強い刺激を与える場所である。(4)をこの穴にそう入して柄の部分を外側にだす。円型の厚みの部分だけ刺激が強くかかる。疲れが激しい時は(5)を(4)と同じようにそう入り、柄の部分に火をつける。これは柄の部分半分位迄にもぐさが入れてあるお灸で既に市販されてる。お灸の火体直接皮ふに当らぬようになっている。

(木) 作用

上述のような刺激物つき眼帯を仕事大勉強の後は着用すると、眼の周囲のつぼも適格に刺激するが大変気持ちがよい。又ほんやり汗をかくと血液の流れが活発となり、何時まにか頭や眼の疲れが解消する。時々(5)の灸を使うと更に効果ができます。

(ヘ) 考案の効果

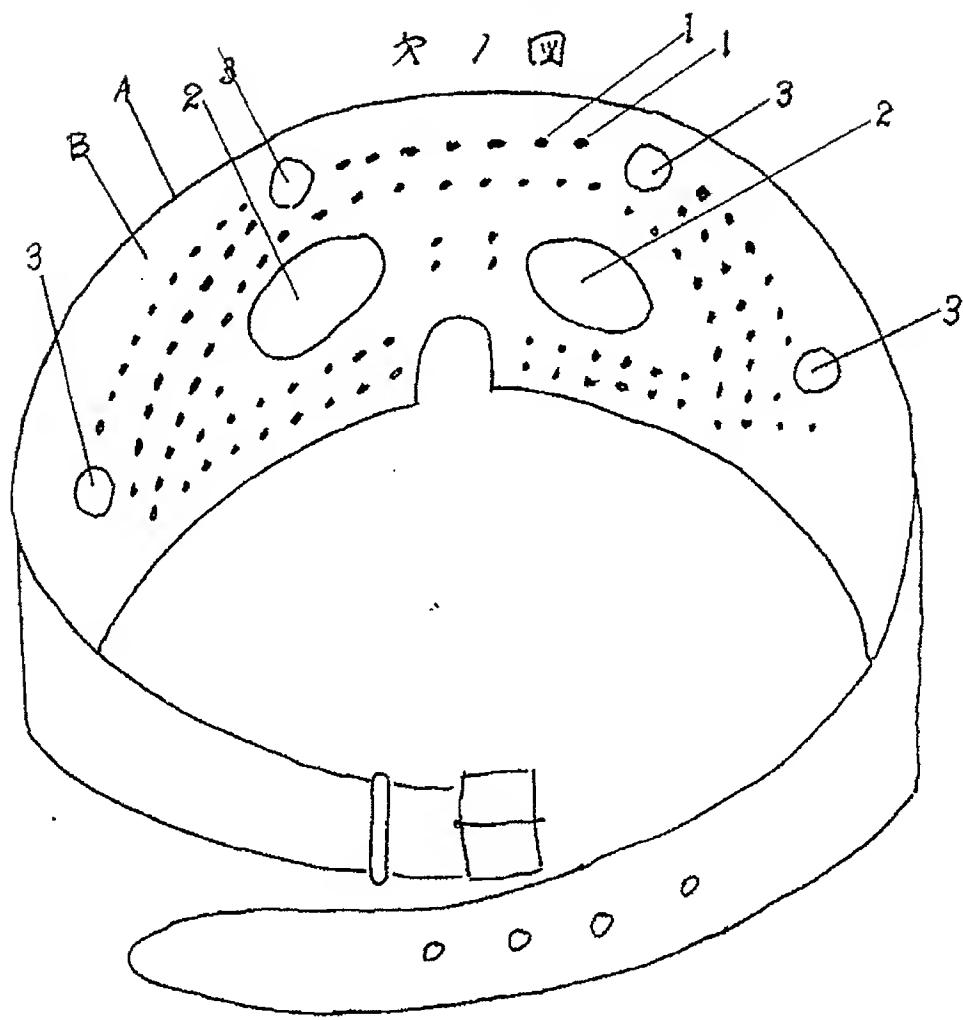
上述の作用により、酷使された眼と頭の神圣の疲れがとれ、視力の回復、頭痛の解消等の効果がみられる。

4. 図面の簡単な説明

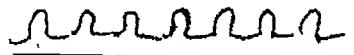
タ1図は本考案の斜視図、タ2図は(1)の拡大断面図、タ3図は(3)の丸穴にそう入される(4)及び(5)の斜視図である。

A…眼帯、B…眼帯の内側部分、1…刺激用突起物、2…間に左眼球をあさえるふくらみ、3…4と5をそう入する丸穴、4…刺激用突起物の補助、5…皮ふを焼かないお灸。

図 面



文3図



文2図

実用新案登録出願人 富士原昌一

343

公開63-166235